

複合カフェ拡大

AOKI系

20年までに500店に

AOKIホールディングス傘下のヴァリック（横浜市）は運営する複合カフェ「快活CLUB」の出店を増やす。今後の出店は年50店ほどと倍増し、2020年3月までに現状の6割増の500店とする。マッサージなどの設備の充実により、

待ち合わせや休憩に利用するシニアや学生の需要を取り込む。

都市部の駅前や郊外の好立地の既存施設を改修して店舗網を広げる。広さは標準で約600平方メートル、居抜きにより出店費は1店当たり8千万～1億円に抑える。3万～4万冊の漫画やマッサージチェアのほか、ダーツやビリヤードの設備も充実させる。休日は1店当たり約300人の来店を見込む。

快活CLUBは業界最大手で全国に約300店持つ。今後は手薄な北海道や九州などを本格的に攻めていく考えだ。